

## ■検討会を終えて

※委員のお名前はご本人に承認の上、記載しております。

### 【駒井委員】

色々なことが関わってくる流域全体を考えるのはなかなか難しいことだと思いました。常呂川の水に関わる安全を中心とした計画の見直しといった責任重大なことに携わり、勉強をさせて頂くことができました。ありがとうございました。

### 【笹木委員】

都合がつかず欠席せざるを得ない検討会もあり残念でした。欠席の時は意見を提出させて頂きましたが、この計画の見直しは気候変動の影響を考慮したことが重要です。気候変動の影響を考慮したことでどのように計画内容が変化したのか、図などを使いながら、より分かりやすく示すことが大切だと思います。そうすることで、地域の方々にも計画内容をうまく伝えることができるのではないかと思います。

### 【塩本委員】

私はこれまで沿岸域を中心に研究しており、海と川は繋がっていることは認識しているものの、川のこととはほとんど専門外であった。今回の検討会で川のことを考えながら海のことを考えられるようになっていきたい。検討会に参加させて頂き感謝しています。

### 【中川委員】

気候変動に対する対応は早急な課題だと思います。地域の生命・財産を守ることにあわせ、生物多様性も守るといった両方を守る視点で河川整備計画の検討に携われたことを大変うれしく思っている。ありがとうございました。

### 【根本副委員長】

このような貴重な検討会に参画させて頂きまして、ありがとうございました。まずは地域を知ることがとても大切だなということ、その中に常呂川の水というものは人が生きることに必要なものではあるが、時として暴れてしまうことがあり、地域をしっかりと認識したうえでないと、安全・安心、そして豊かさということも守れないのかなということを改めて感じました。

今回の計画は、これからどんどん生き続けるものであると思いますので、是非様々な関係機関の方々に育てて頂きながら私たちも出来ることを携わらせて頂きたいと思います。

おそらく5年後、10年後にこの令和3年の改訂の時には、コロナでしたという話題になるのではないのかなと思います。

**【早川委員】**

常呂川本川の河川整備計画の検討であるが、本州の方の河川では、本川よりも支川の問題があがっている。今回の計画の見直しは、本川の流量を改定することで、支川の氾濫を助けることもできると思います。また、川だけではなかなか対応できないところを、流域治水という流域一環で対応するという考え方は今後是非進めて頂きたいです。

**【平野委員】**

この委員のメンバーにさせて頂きありがとうございます。海が見えない地域の人にとって川は非常に大事なものである。水は私たちの文化の中で大きな存在となっており、文学作品の主要な素材となっている。川は大事にして、愛して、氾濫があっても氾濫を含めて歴史的、文化的にみんなで共有し、大事にしていきたいと思います。この検討会で様々な情報・意見を聞かせて頂き、ありがとうございました。

**【吉田委員】**

オホーツク地域は一次産業的に言うと、農業、漁業がとても盛んであり、特に常呂川は色々な産業に対し大きな影響を与えていると改めて認識した次第でございます。今回は気候変動を加味した新しい評価で検討していると伺っているが、これからは生物多様性や将来を担う子供たちへの教育への効果とか直接評価できない項目が評価できるためのスタートの議論の場になれたらと思いました。この検討会に参加させて頂き、ありがとうございました。

**【渡邊委員長】**

本来であれば、3月の開始時から対面での議論や現地を視察した上での議論をしたかったが、叶わず非常に残念な思いでございます。しかし、WEB開催が多い中、常呂川をより良くするための熱い議論をして頂き、本当にありがとうございます。委員長として感謝申し上げます。

また、事務局の皆様にはかなり無理難題を言ってしまう申し訳ありませんでした。色々ご対応して頂き、ありがとうございました。半年にわたって検討した議論内容を踏まえ、より良い常呂川の整備をして頂ければと思います。